

多賀台地区夏祭り ～楽しみながら創って参加！地域みんなの夏祭り！～



多賀台地区夏祭りについて、多賀台連合町内会の菊池武会長きくちたけし、田畑稔事務局長たばたみのるにお話を伺いました。

○夏祭り開催に至るまで

多賀台地区9町内会で組織する多賀台連合町内会では、お盆後に盆踊りを開催していましたが、肌寒い時期でもあり、参加者が減少傾向にありました。そこで、多賀台地区に縁を得て住んでいることへの恵み(=楽しさ)を共有できる場として、老若男女を問わず、みんなが参加できるお祭りを目指し、地区諸団体と調整、検討を重ね、平成22年度から現在のようなお祭りになりました。

○多賀台地区夏祭りとは

このお祭りは、小・中学校の夏休みが始まる頃に多賀台中央公園をメイン会場に行われます。保育園児や小学生ほか200人以上の参加者によるねぶたと山車の運行でスタートし、第1部「縁日広場」では地区町内会やPTAによる出店を楽しみます。第2部「発表・踊り広場」では、地区社会福祉協議会によるスコップ三味線、市川中学校吹奏楽部による演奏会、多賀台保育園園児によるマーチング、少林寺拳法、多賀台小学校児童によるよさこいソーラン、全員参加の「八幡馬」などが行われます。第3部「静寂と幻想・花火の広場」では、みんなで作ったランタンを灯して幻想的な雰囲気を楽しんだあと、花火で終了となります。

○みんなで創る夏祭り

このように、夏祭りは、保育園児から大人まで、みんなで

創り、参加し、楽しむことのできるお祭りです。発表・披露のための準備、ランタン作りなど、知恵を出し合い、みんなで創っていく中で、この地域に住んだご縁を感じて、絆を深めていただければと考えています。また、子どもたちにとって、ふるさとの原風景の1コマとなればと思っています。また、今後は、地域の高校生にも、もっと参加してもらい、さらに活気あるものにしていくことができればと思います。

○地域づくり

多賀台地区では、夏祭りのほかにも、運動会や、どんと焼きなど地域が一体となって取り組んでいる行事があります。行事の成功はもとより、その準備や取り組みの過程こそが、地域づくりにおいて大切なものと考えています。



夏祭りの様子